

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：横浜市南日吉保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：高島田 史子	定員（利用人数）：78名（91名）
所在地：〒223-0062 横浜市港北区日吉本町4-10-52	
TEL：045-561-6560	
ホームページ： https://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/kurashi/kosodate_kyoiku/hoiku/hoiku-jo/minamihiyoshi.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1965年7月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市	
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 31名
専門職員	保育士：園長 1名 保育士 29名
	保育士：主任 1名 調理員 4名
施設・設備 の概要	乳児室（0～2歳児室）2室 沐浴室 1室
	幼児室（3～5歳児室）2室 シャワー室 2室
	事務室 1室 トイレ 3室
	職員更衣室 2室 調理室 1室
	鉄筋コンクリート造り2階建て 建物延べ床面積 599.5㎡ 園庭 92188㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

- ・わたしたちは一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、保育を通して子どもが主体的に生きる権利を保障します

【保育方針】

- ・家庭的な雰囲気の中で心身ともに健康な子どもを育てていきます

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要・特徴】

横浜市南日吉保育園は、1965年7月に開設し、57年目を迎えています。市営地下鉄グリーンライン日吉本町駅から徒歩8分の集合住宅地に立地しています。港北区の中でも世帯数が多く、近隣には小学校4校、中学校1校があり、子育て世代が多く、子育て支援事業に関心が高い地域です。保育施設も多く、毎年新設園が増えている港北区北部エリアで、地域の中での公立保育園として子育て支援の役割やネットワーク活性化の役割を担っています。

建物はRCコンクリート2階建てで、921㎡の園庭を有しており、園庭には大木と

なった楠、ヤマモモ、杏子、ゆず、柿の木等の実のなる木があり、園舎の道路側には畑や花壇があります。

異年齢交流、リズム遊び、食育活動、地産地消、地域支援を保育の5本柱とし、延長保育、障がい児保育、一時保育を、地域育児支援事業として園庭開放、育児相談、育児講座、子育て広場等を実施しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年4月25日（契約日）～ 2023年2月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3 回（ 2017年度）

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

1. 「子ども主体の保育」を保護者と伝え合う取組の工夫

職員は「子ども主体」の保育を常に意識し、子どもとの関わりの中で、子どもの心とした言葉や態度、仕草、目線等から子どもの満足感やニーズを把握し、子どもが満足できるような保育の実践に努めています。

保護者に対する情報提供は、0～2歳児は毎日の連絡帳、幼児クラスでは子どものその日の活動情報をドキュメンテーションを掲示して伝えています。運動会やおたのしみ会等の後に、行事に対する感想を付箋に記してもらい、クラスごとに掲示し、職員も付箋に記して、思いを共有し、子どもたちにもその内容を伝えています。子どもを真ん中に、保護者と職員が共に育ちあう関係の見える化を大切にしています。

2. 地産地消の取組と豊かな食育活動

「地産地消」の取組で、JA日吉が開催する朝市に子どもと行って地元野菜を購入し、給食に使用していました。コロナ禍では、農家の方に採りたての野菜を園に届けてもらっています。

JA農家さんとの「地産地消」の取組では、子どもたちからの「大根はどうして汁に入れると透明になるの?」「玉ねぎを切るとどうして涙が出るの?」などの疑問や質問に丁寧に応え、直に触って感触を知るなど、子どもたちの食に関する興味、関心を膨らませる機会になっています。この取組は、ドキュメンテーションで保護者に伝え、JA日吉のロビーに掲示して、地域の人たちに知らせています。

3. 会議の持ち方の工夫による職員連携の活性化

毎日、14時から実施するミーティングの内容の伝達の徹底を図るために、今年度から会議を15分短縮して各クラスで職員に報告する時間としました。その日のうちに情報が伝わるとともに、職員それぞれの職務も明確になり、クラス単位、異年齢での活動について職員一人一人がチームとしての意識を持つことができるようになり、活性化が図られています。

4. コロナ禍での積極的な地域子育て支援の取組

コロナ禍で閉鎖的になりがちな子育ての中、育児支援事業の年間計画をホームページで紹介し、園児が園庭を使わない時間帯の園庭開放や、育児相談、七夕や節

分の行事を行いました。オンライン申請で予約を受けて参加しやすくし、多くの参加を得ています。また、気軽に電話でも相談できる体制をとっており、港北区北部の子育て支援施設としての役割を果たしています。

5. 福利厚生観点からの職員休憩室、更衣室の設置を

園には職員休憩室がなく、事務室も狭いことから、職員は休憩や保育の事務作業を玄関前の廊下で行っています。職員の休憩室・更衣室等の不足がうかがわれます。福利厚生の早急な改善が期待されます。

6. 保育を可視化した取組による保育の質の向上

子どもの姿を写真にして捉えるドキュメンテーションは、コロナ禍において保護者に保育を伝えるツールとして活用してきました。

園では今年度、月2回の職員会議のうち1回は保育内容について深め合う話し合いの時間としました。このドキュメンテーションをもとに職員一人ひとりが互いに気づきを語り合い、保育の発展を図式化して、育みたい方向性を明確にする取組により、さらなる保育の質の向上につなげることが期待されます。

※ドキュメンテーション：子どもの活動や表現をそこに至るプロセスを含め、写真等視覚的なものも用いて作成した「可視化」するための記録

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当施設は平成29年度に第三者評価を受審しております。今回の受審にあたり、自園の保育を振り返り、保育の質の向上につなげると共に、「南日吉保育園が大切にしている保育とは？」を改めて考える機会となりました。

全職員が参加し、グループに分かれて語り合い、意見を出し合って自己評価をまとめ上げました。自分たちの保育について沢山語り合い、職員それぞれの考えを共有することで、有意義な時間を持つことができました。資料の作成では、自分たちの保育を文章にし、整理をすることで、南日吉保育園の強みと課題を再確認することができました。

コロナ禍の保育で、保育の可視化が課題にあがり、職員一同改善を図るべくドキュメンテーションの作成などの取組を行っています。また園内研修の中で、様々なテーマをあげて職員同士、保育について語り合うなど日々の学びを継続しながらさらなる保育の充実に向けて取り組んでいます。

これからも子ども一人ひとりの声に耳を傾け、子どもたちが主体的に生活できる保育を進めていきたいと思っております。

お忙しい中、アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。今後も保護者の皆様と一緒に、子育ての楽しさ・喜びを共感していきたいと思っております。また丁寧な調査と聞き取りで当園の強みと課題を明確にいただいた評価機関の皆様には感謝申し上げます。

今後も職員一同、力を合わせて保育の質の向上に努めてまいります。

南日吉保育園 園長 高島田史子

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり